



編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
智子友
い わぶち
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎ 22-3313
FAX 24-4096

無料生活相談所

関 徹
長者町11-26
24-2414

加藤 一
宝徳 仲田56
64-3941

菅井 巖
中 楯 9 6
33-0534

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993

山田 守
宝田1-9-1-31
23-6548

長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

市役所耐震補強に5億8千万円

6月市議会開会 一般会計補正予算11億2千万円

鶴岡市議会6月定例会は4日から21日まで開会されます。

鶴岡二中、藤島中、櫛引中に自家発電機を設置します。

地域防災対策事業180万円は、(一財)自治総合センター助成により、藤島地区自治振興会に防災備品を整備します。

多文化共生推進事業50万円は県が新設した若者海外体験促進事業で、高校生を除く18歳から29歳の初めてのパスポート取得に、1人あたり5千円を補助金します。

条例では、介護保険条例の一部改正で、消費税引

当局提案の議案は、繰越計算書の報告4件、専決処分の承認1件、補正予算1件、条例5件、事件4件の合計15件です。

再生可能エネルギー等導入推進事業8590万円は、(財)環境イノベーション情報機構の防災減災・低炭素化自立分散型エネルギー設備等導入推進事業に係る太陽光発電設備と蓄電池設置の工事費で、鶴岡四中と櫛引ス

ポートセンターに設置します。

「かごしまアジア青少年芸術祭」への兄弟都市盟約50周年を記念した参加に係る補助金142万円等となっています。

費税率引き上げに伴う負担を軽減するため、介護保険料の所得段階のうち、所得が低い方から2段階までの保険料を引き下げます。

令和元年度の補正予算は、一般会計に11億2486万5千円を追加し、予算総額を742億1186万4千円とするものです。

スクールバスの更新では、あさひ小1870万7千円、温海中844万6千円です。

園芸作物生産支援事業1億1127万8千円、産地パワーアップ事業5112万7千円、農業用ハウス強靱化緊急対策事業340万円は県の内示を受け

取得します。

本庁舎耐震補強事業5億8219万円は、緊急防災・減災事業債を活用し、工事は2ヵ年で実施します。

避難所強化対策で中学校に自家発電機設置

自治組織等運営活動対策事業1880万円は、(一財)自治総合センター助成により、西荒屋自治会の広場遊具及び公民館のエアコン整備、行沢自治会の遊具整備、文下町内会の公民館建設補助金で

救助工作車はレスキュー車とも呼ばれ、主にウインチ、照明装置、クレーンなどを装備しています。

鶴岡市介護保険条例の一部改正について

所得段階の区分	現行	特例適用後
第1段階	35,540円	29,610円
第2段階	51,320円	45,410円

(平成31年4月1日から適用)



5月25日、小波渡の国道7号線で、自衛隊の砲弾を積んだ10トントラックが乗用車に追突し、海岸に転落する事故が発生しました。(記事2面)

学校給食センター入札結果 () 内は予定価格

5月23日入札分
・市藤島ふれあい食センターエアコン更新工事(藤浪三丁目95-9)(入札6業者)
山形空調(株) 16,000,000円(20,160,000円) 工期~8/30 (落札率79.37%)

教育委員会管理課入札結果 () 内は予定価格

5月23日入札分
・市立朝陽第一小学校ほか4校冷房設備設置工事(機械設備)平成30年度繰越明許(入札7業者)
青山工管(株) 38,500,000円(60,020,000円) 工期~9/24 (落札率64.15%)
・市立朝陽第一小学校ほか4校冷房設備設置工事(電気設備)平成30年度繰越明許(入札13業者)
(有)大久保電気工事店 33,100,000円(35,210,000円) 工期~9/24 (落札率94.01%)

土木課入札結果 () 内は予定価格

5月23日入札分
・大西町暁光橋線防護柵設置工事(青柳町地内)(入札5業者)
田川砂利工業(株) 2,600,000円(2,790,000円) 工期~8/2 (落札率93.19%)
・平成30年災第5960・5961号市道温俣一霞線道路災害復旧工事(繰越明許)(山五十川地内)(入札1業者)
(株)土岐工務店 2,500,000円(2,641,000円) 工期~9/20 (落札率94.66%)
・平成30年災第7951号市道少連寺砂谷線道路災害復旧工事(繰越明許)(少連寺地内)(入札2業者)
(株)諏訪建設 4,800,000円(4,862,000円) 工期~9/20 (落札率98.72%)

下水道課入札結果 () 内は予定価格

5月24日入札分
・一般廃棄物最終処分場排水管整備に係る実施設計業務(その1)(西目・下小中地内ほか)(随意契約)
公益財団法人山形県建設技術センター 9,000,000円(9,338,000円) 期間~2/3/30 (落札率96.38%)
・一般廃棄物最終処分場排水管工事に伴う発注者支援業務(西目・下小中地内)(入札5業者うち1業者辞退)
(株)ジステム13,000,000円(13,720,000円) 期間~2/3/31 (落札率94.75%)

農山村の困難を資源に変える施策

市議会産業建設常任委が岡山・兵庫を視察

鶴岡市議会産業建設常任委員会（菅原一浩委員長）の行政視察が5月15日から17日の3日間行われ、岡山県美作市、兵庫県宍粟市、岡山県倉敷市を視察しました。長谷川剛委員が参加しました。

ジビエ処理施設で新たな地域資源

——岡山県美作市

美作市は、人口約2万7千人。岡山県の北部、鳥取県、兵庫県との境に位置しています。ここでは、鳥獣被害対策について視察しました。

平成23年頃からニホンシカやイノシシなどの鳥獣被害が増加。ハンターが捕獲し、その場で埋設をしています。また、被害が急増するなかで処理対策が急務となりました。

市では、農地への侵入を防ぐために侵入防止柵設置事業を進め、電気柵の設置やワイヤー金網の設置を進めま



美作市獣肉加工施設「地美恵の郷みまさか」

した。また、有害駆除の許可を毎年で出し、捕獲奨励金は国や県の支給分と合わせてシカ1頭当たり約1万3千円の捕獲奨励金を出しています。

平成30年4月から「オリナワシステム」を導入し、良質な個体の確保とハンターの負担軽減に取り組んでいます。

「オリナワシステム」は、わなに通信機を取り付けたもので、わなの作動に反応して捕獲を知らせる仕組み。親機、中継機、子機の3段階で長距離無線電波を中継して、携帯電話が届かない山間部でも通信できるのを強みとしています。

美作市では、親機1台、中継機4台、子機45台を約250万円で購入。このうち子機を狩猟者に無料で貸し出ししています。

捕獲の通知は、利用者のスマホに直接届き、専用アプリの地図画面上でどのわなかかわり、LINEでグループを作り、捕獲獣の回収を仲間同士で受けあうようになったとのこと。

捕獲対策を進めた結果、平成27年度のピーク時には、ニホンシカ5855頭、イノシシ1427頭を捕獲。平成30年度は、ニホンシカ4559頭、イノシシ1057頭の捕獲実績となっています。高齢化が進む中で、若者

など新規の狩猟者育成が課題とのことでした。

平成25年にジビエ（獣肉）処理施設を整備し、シカとイノシシを食肉として活用することで新たな地域資源を生み出すことにつながりました。食肉加工品の販売は、市内の道の駅をはじめ東京や大阪などに卸売業者を紹介して販売しています。また、精肉には不向きな部分は、ペットフード向けとして処理しています。

農地付き空き家で人口減少対策

——兵庫県宍粟市

宍粟市は人口約3万7600人、兵庫県で2番目に広い面積で、その9割が森林です。ここでは農地付き空き家の取り組みについて視察しました。

管理者を失った農地や空き家の解消と、移住支援を一体的に進めるため、市の空き家バンクに登録された物件に付随する農地を取得する場合には、下限面積要件（農地法3条）を1アールに引き下げました。

これにより、移住者にとってネックだった農地取得のハードルが下がり、本格的な農業に結びつく例も出始めました。移住者は、初めて農業に従事する人がほとんどであり、地域に溶

け込み軌道に乗るまで応援してもらう体制を作っています。新規就農者支援として年間100万円を3年間支給します。一方でうまくいかずに転出する人もいるとのこと。

宍粟市では、移住・定住の取り組みとして通勤通学費の支援（市外へ通勤・通学する人へ最大月額2万円）や住宅取得支援なども行い人口減少対策を進めていきました。

商工団体と連携し、地域資源を発信

——岡山県倉敷市

倉敷市は、人口約48万人。白壁と柳並木的美観地区などの観光都市として、また水島コンビナートとシーンズなど繊維製品に代表される商工業都市です。平成24年に市内の商工

団体と市が連携し、地域資源（特産品、老舗、魅どころ）を磨き伝える仕組みづくりを一緒に行うことにより、市内の人々に魅力を感じてもらい価値を知ってもらうことを目的として「くらしき地域資源活性化協議会」を立ち上げました。

翌25年には、「くらしき地域資源活性化推進条例」を施行。特産品など地域資源の情報発信や、観光プロモーションを大都市圏などで実施し観光誘客を行っています。また、全国の百貨店などへの出店、海外販路の拡大などの事業を進めています。

現在、老舗166件、特産品162件、魅どころ254件のべ582件が登録されています。

自衛隊の砲弾積んだトラックが転落事故

5月25日午前9時半ごろ、鶴岡市小波渡の国道7号線で、自衛隊の砲弾を積んだ日本通運の10トントラックが、右折するために止まっていた乗用車に追突し、道路左側のカーブドレーン突き破って、5メートル下の海岸に転落しました。

事故の翌日、長谷川剛市議と山田守市議が現場状況の確認と聞き取りを行い、近隣の方からお話を伺うことができました。

その方は、「9時半くらいに、カーンと

これまで聞いたことのないような音がしたので外に出てみたら、軽乗用車の後ろとガードレールが激しく壊れていた。トラックは海岸の方に落ちていたのが見えた」、「防災無線で『現場に近づかないで下さい。公民館に避難してください。』と繰り返し放送があった。後で積み荷が砲弾だと聞いて驚いた。まさか砲弾を積んだトラックが家の前を通っているとは思わなかった。」と話していました。